

G3 のツイッター その 37

烈剛河内 竹井 保満

ハロウィーンだとかバレンタインデーだとかクリスマスだとか、何でも売らんかなの外国からのお祭りですが、5月の第2日曜日の母の日だけは賛成です。

私を産んで愛育してくれた母に感謝するのは当然ですが、それだけではありません。細胞核のDNAは両親から半分ずつもらいますが、ヒトの細胞内に入り込んだミトコンドリアはATP(アデノシン三リン酸)を作りヒトの全ての営みを司ります。ミトコンドリアは母親からしか貰えないのです。遺伝子の研究が無かった頃は、母親の腹は借りるだけと思い込み、男系の男子を世継ぎとしましたが、交接の段階で卵子のミトコンドリアは十万個、片や精子のミトコンドリアは百個までです。其れも精子が卵子に到達すると消されて廃棄されるのです。女系を遺伝子の立場から見直せと言うのはおかしいでしょうか。

最近の新聞で読んだ化石の話ですが、アジアのバイソンの化石のミトコンドリアのDNAを調べたところ、アメリカ大陸のバイソンの先祖で1600万年前にベーリング海峡が陸続きだった頃アジアから渡っていった事が分かりました。今の大きさの2倍はあったそうです。

次は人間の話で、イタリアとオーストリアの国境のエッツィ渓谷(2210メートル)で1991年9月19日雪に埋まった痛い遺体が発見され近年の遭難者と思われていましたが、ミトコンドリアのDNAで解析したところ5300年前の男性で、ミトコンドリアはハプログループK1で、地中海の島に住んでいた人と判明しました。

くどいようですが、もう1件、旧ロシアのニコライ二世も1991年墓から掘り出されミトコンドリアのDNA鑑定で同人と判定されました。

こんなにすばらしいミトコンドリアのDNAでいろんな事が分かるのであれば、これを登録して公開すれば国が、決めた個人番号よりも面白いことが起こるとおもいませんか。

嘘か本当か分かりませんが、竹井家の先祖は、備中の早島城主で竹井将監です。かの有名な、高松城水攻めの戦いの出先の城で将監は勇敢に戦い、加藤清正と一騎打ちの末に戦死した偉いご先祖様だそうです。だから、卑しい振る舞いはするなとよく諭されました。然し、武将の細胞核のDNAなどカケラも残って居ないと思います。その証拠に草木の手入れや、大工仕事や野良仕事が好きです。

90歳を前に元気に活動できる私に強い強いミトコンドリアを授けてくれた母親にただ感謝、感謝。

母の日に万歳。